

九州 山岳 霊場 遺宝

海を望む
北西部の山々から



四王寺山出土鉄剣片 宇美町教育委員会蔵

古来、人は山を神が住まう場として崇めてきました。やがて仏教が渡来して山は修行の場ともなり、神仏が共生する聖地となって長い年月を重ねました。明治初めの神仏分離や修験廃止は、山のあり方に大きな影響を及ぼしましたが、しかし、今も多くの山が聖地として生き続け、そこには多くの貴重な文化財が伝えられています。日常生活や開発により変化が著しい市街地に比べると、山にはいとしへの面影が色濃くのこっています。山とそこに伝わる文化財は、歴史や文化を考える上できわめて重要な存在です。そのような山について、九州歴史資料館では、九州を中心に調査研究を深めてまいりました。当館に事務局を置いて活動を続けてきた、九州山岳霊場遺跡研究会による成果の蓄積も進んでいます。本展は、そのような調査研究の成果に基づくもので、とくに九州ならではの特徴である大陸との交流の痕跡を色濃くのこす、筑前と肥前の山々に絞り、それらの霊山を象徴する御尊像を中心とする、ゆかりの文化財を一堂に会して御紹介するものです。雄大な山とその歴史の全貌を、会場に収めることは叶いませんが、その粋だと言える文化財と向き合うことを通して、九州の山岳霊場の歴史とその特質や魅力を、体感していただきたいと思っております。



彌陀菩薩坐像 福岡県糸島市・正覚寺蔵



清石観音菩薩像 福岡県須恵町・佐谷区文化財保存会蔵



千手観音立像 佐賀県小城市・東小松区蔵



地藏菩薩立像 福岡県久山町・清谷寺蔵



木造狛犬(吡形) 福岡県太宰府市・龍門神社蔵



白山神社経塚出土遺物 九州歴史資料館蔵



木造狛犬(阿形) 福岡県太宰府市・龍門神社蔵

イベントのご案内

すべて往復はがきでのお申し込みが必要です(先着順)。

○記念講演会 11月6日(土)13時30分~16時

「翠竹黄華」としての見心来復像 一背振に抱かれた中国五山の柳林文化
講師：井手誠之輔氏(九州大学人文科学研究院主幹教授)
会場：九州歴史資料館研修室 定員：80名
聴講料：無料(13時から入場)

○関連講座

1. 10月9日(土)九州北西部の霊峰の神仏の姿
講師：井形進(九州歴史資料館)
 2. 11月13日(土)首羅山遺跡と地域の歩み
講師：江上智恵氏(久山町教育委員会教育課長)
- ※ いずれも13時30分~15時30分 会場：九州歴史資料館研修室 定員：80名
聴講料：無料(13時から入場)

○ギャラリートーク

1. 10月29日(金) 講師：竹下正博氏(佐賀城本丸歴史館企画芸芸課長)
 2. 11月26日(金) 講師：井形進(九州歴史資料館)
- ※ いずれも16時30分~ 展覧会場内にて 定員：10名 聴講料：無料(ただし観覧券が必要です)



アクセス

- 西鉄電車
天神大牟田線三国が丘駅から約700m
- JR鹿児島本線
原田駅からタクシーで約10分
- 自動車
九州自動車道 筑紫野ICから
鳥栖筑紫野道路経由で約15分
大分自動車道 筑後小郡ICから
国道500号線・県道88号線経由で約15分
福岡都市高速 水城出口から
国道3号線経由で約25分

